

香港株式市場フラッシュ

市場環境が厳しくなるほど魅力を増す香港株とは

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

2023年9月27日号(9月27日作成)

“中国不動産大手の経営問題は足元で悪化”

香港・中国本土の株式市場は国慶節の長期休暇を前に不動産開発大手企業の経営問題で揺れている。中国恒大集団(3333 香港)は債務再編案の見直しが必要になると突如発表を行い、25日には同日期限の人民元建ての元利払いを主要子会社ができなかったと発表。不動産投資を手掛け、米国で進めた複数事業で苦境に陥っている中泛控股[チャイナ・オーシャンワイド・ホールディングス](715 香港)に対し、ハミュダの裁判所が清算命令を出すなど不動産関連企業の経営問題が相次いでいる。

金融緩和によって不動産取引活性化への支援を行うにも、為替の人民元安・海外への資本逃避を懸念して中国人民銀行も思い切った緩和策をとりにくいのが実情のようだ。

“国有企業系の高配当利回り銘柄の魅力が増す”

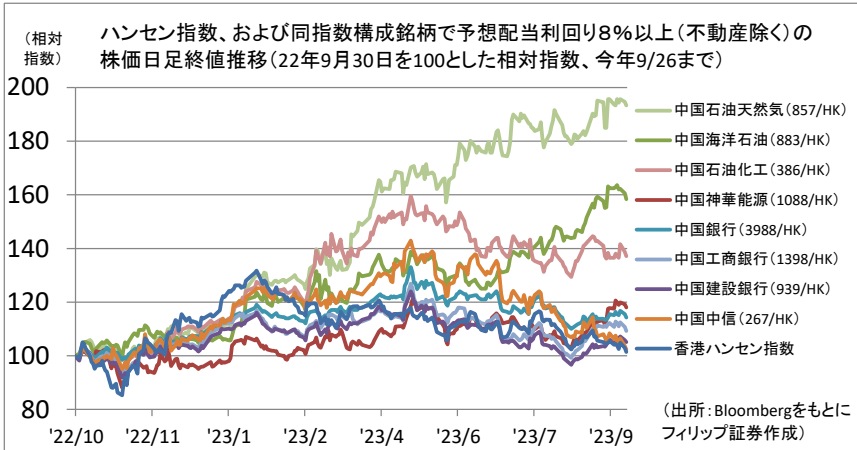
このような中で香港株市場に投資チャンスを見いだせるのだろうか？ 市場を取り巻く環境が厳しくなるほど、香港株の魅力が相対的に増す面もある。

折しも、日本株は9月末の配当権利を巡って予想高配当利回り銘柄への投資が活発化した。ところが、TOPIX(東証株価指数)の構成銘柄のうち大型株と中型株の約500銘柄から構成されるTOPIX500を見ると、9/26終値で予想配当利回り5%を超えるのは日本たばこ産業(JT)の1銘柄のみである。

香港市場の代表的な株価指数である香港ハンセン指数構成の80銘柄を見ると9/26終値でBloombergの市場予想配当利回り8%以上が12銘柄ある。不動産関連業種を除くと8銘柄だ。①中国神華能源[チャイナ・シェンファ・エナジー](1088 香港)は11%台、②中国海洋石油[CNOOC](883 香港)は10%台、③中国建設銀行[チャイナ・コンストラクション・バンク](939 香港)、④中国銀行[バンク・オブ・チャイナ](3988 香港)、⑤中国中信[シティック](267 香港)の3銘柄が9%台、⑥中国工商银行(1398 香港)、⑦中国石油化工[シノペック](386 香港)、⑧中国石油天然気[ペトロチャイナ](857 香港)の3銘柄が8%台の配当利回りである。中国神華能源、中国海洋石油、中国石油化工、中国石油天然気は国有企業系のエネルギー関連企業であるほか、中国建設銀行、中国銀行、中国工商银行は中国の4大国有商業銀行に名を連ねる。

2023年度の市場予想配当性向(予想配当金の予想1株利益に対する割合)を見ると、①71%、②43%、③30%、④32%、⑤26%、⑥32%、⑦66%、⑧55%と、無理をして高配当を維持しているようには見受けられず、減益の際の減配リスクも限定的とみられる。特に国有商業銀行は3割程度で安定している。他方、株価推移ではエネルギー関連銘柄が国有商業銀行をパフォーマンスで上回っている。

なお、米国株を代表する株価指数であるS&P500指数を見ると、9/26終値で首位のアトリアグループ(MO)およびウォルグリーン・ブーツ・アライアンス(WBA)が9%台、ベライゾン・コミュニケーションズが8%台と、予想配当利回り8%以上が3銘柄あるものの、安定性では中国の国有企業のほうが上回る面もあるだろう。



ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全96銘柄)における終値の昨年月末来騰落率

前回基準日: 20230912 基準日: 20230926

順位	2022年末来騰落率・上位10銘柄	(%)	前回順位
1	理想汽車	79.6	1
2	中国石油天然気 [ペトロチャイナ]	74.4	3
3	小鵬汽車	65.8	2
4	中国海洋石油 [CNOOC]	49.4	4
5	比亞迪電子(国際) [BYDエレクトロニック]	40.9	5
6	網易 [ネットイース]	38.8	6
7	中国移动 [チャイナモバイル]	36.3	7
8	HSBCホールディングス	31.6	10
9	联想集团 [レノボ・グループ]	25.3	9
10	比亞迪 [BYD]	24.8	8

順位	2022年末来騰落率・下位10銘柄	(%)	前回順位
96	CG SERVICES (碧桂園服務)	-57.0	96
95	李寧[リーニン]	-51.7	93
94	万国数拠服務 [GDSホールディングス]	-51.0	94
93	JDDットコム	-48.3	92
92	中升控股 [フォンサン・グループ・ホールディングス]	-46.7	90
91	ピリピリ	-42.5	91
90	JD Health International Inc (京東健康)	-42.4	89
89	金蝶国際軟件集团 [キングディー・Int'lソフトウェア]	-40.8	85
88	舜宇光学科技(集団) [サニー・オプティカル・テクノロジー]	-38.3	88
87	龍湖集团 [ロンフォー・グループHldg.]	-37.3	77

【2023年9・10月中国主要経済指標】

- 9月15日(金)
 - ・8月小売売上高<前年同月比>: 前回+2.5%、結果+4.6%
 - ・8月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+3.7%、結果+4.5%
 - ・1-8月固定資産投資<前年同月比>: 前回+3.4%、結果+3.2%
 - ・1-8月不動産投資<前年同月比>: 前回▲8.5%、結果▲8.8%
 - ・8月調査失業率: 前回5.3%、結果5.2%
 - ・8月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.23%、結果▲0.29%
- 9月20日(水)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.45%、結果3.45%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回4.20%、結果4.20%
- 9月27日(水)
 - ・1-8月工業利益: 前回▲15.5%、結果▲11.7%
- 9月30日(土)
 - ・9月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.7
 - ・9月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回51.0
- 10月1日(日)
 - ・9月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回51.0
 - ・10月(財新)サービス部門PMI: 前回51.8
- 10月7日(木)
 - ・9月外貨準備高: 前回3.16兆USD
- 10月9日(月)～15日(日)
 - ・9月資金調達総額: 前回3.12兆元
 - ・9月新規人民元建て融資: 前回1.36兆元
 - ・9月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+10.6%
- 10月13日(金)
 - ・9月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+0.1%
 - ・9月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲3.0%
 - ・9月貿易収支: 前回+683.6億USD
 - ・9月輸出<前年同月比>: 前回▲8.8%
 - ・9月輸入<前年同月比>: 前回▲7.3%

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。